

決議案第1号

日進市道の駅整備事業の賛否を問う住民投票の実施を求める決議

上記の決議案を別紙のとおり提出します。

令和5年9月28日

提出者	日進市議会議員	島村	きよみ
〃	日進市議会議員	田中	とおる
〃	日進市議会議員	ゆきむら	ともこ
〃	日進市議会議員	舟橋	よしえ
〃	日進市議会議員	白井	えり子
〃	日進市議会議員	山田	久美
〃	日進市議会議員	坂林	たくみ
〃	日進市議会議員	ごとう	みき

(理由)

令和5年9月議会において、「日進市道の駅整備事業」の事業費総額の概算が示され、資材高騰の影響もあり、市費負担総額が約20億円、計画時の約1.5倍にのぼることが判明しました。今後財政状況が厳しくなる見通しがある中、多額の市費を投入する本事業についてこのまま進めてよいか、主権者である市民に問う必要があります。

よって日進市議会は「日進市道の駅」整備事業について日進市民の賛否を問う住民投票の実施を強く求めるため、本決議案を提出するものです。

決議案第 1 号

日進市道の駅整備事業の賛否を問う住民投票の実施を求める決議

日進市は平成 29 年 2 月に「日進市道の駅基本構想」を策定して以後、事業を推進してきたが、この間市民からはパブリックコメント、説明会、公聴会等を通じ、様々な観点から本事業に多額の市費を投入する事に対する疑問の声が出されている。一方、本市の農業振興、観光振興、子育て支援、防災、市民交流といった地域課題の解決につながる施設として期待する声もある。

こうした中、令和 5 年第 3 回定例会において本事業における市費負担額が、資材高騰により当初予定額の約 1.5 倍となることが示された。本市の財政は今後経常的経費がさらに膨らみ、厳しい運営となる見込みとなっているが、学校、保育園始め老朽化した既存の公共施設建築物の更新や空調整備、地域の公園整備等、市民にとって不可欠な公共施設整備に優先的に取り組むべきと考える。

また当該事業地において本年 7 月より造成工事は始まったものの、市は用地の 9%をいまだ購入できておらず、事業地近隣の本郷区民から求められている具体的な交通対策についての協議を終えていない状況がある。

近い将来の厳しい財政状況、加えて現在においても不確定、不安定な要素を抱えている事業の進捗状況を鑑み、道の駅整備事業に今後多額の税金を使ってよいのか、納税者である市民に問わねばならない。

よって日進市議会は「道の駅整備事業」について、日進市民の賛否を問う住民投票の実施を強く求めるものである。

以上、決議する

令和 5 年 月 日

愛知県日進市議会